

平成30年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

シートNo.1

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。  
◆館の重点評価項目は、西蒲区の図書館で重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名：西川図書館

区分	施策・事業名	概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
ネットワーキングを活かした課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 課題解決のためのレファレンスサービスの充実	・市民に身近な課題解決のためレファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	・レファレンス件数は8,524件で前年度比13%減。 ・レファレンスサービスの充実のため、中央図書館が実施したレファレンス研修に参加した。	・レファレンス件数の減少は、学校図書館からの問い合わせの減少によるところが大きい。利用者に向けても、引き続き機会をとらえ広報を行っていく。 ・研修はH29年度と同様に集合研修ではなく、職場にしながら参加できる課題形式のものだった。ほとんどの職員が参加し、職場全体のスキルアップにつながった。	3 大変評価する。 2人 25% 2 ある程度評価する。 6人 75% 1 評価できない。	・学校図書館からの相談等は別建てで管理するべきではないか。一般市民からの利用がより重要と思う。 ・レファレンスサービスを適切に行える職員がそう簡単には養成できないと思う。 ・報告書等においてもレファレンス等のカタカナ語を多用しないで、日本語を用いるべきである。
	◆館の重点評価項目 くらしの課題解決に役立つ事業の実施及び情報提供	・地域の現状や社会情勢をふまえ、関係機関と連携しながら、くらしの課題解決に役立つ事業の実施や情報を提供する。	・新潟市の中でも高齢化率が高い西蒲区の現状をふまえ、認知症に関する職員研修を実施した。 ・西川図書館において、「認知症にやさしい本棚」を設置した。	・認知症研修を西蒲区全館の職員が受講し、認知症の知識を深めるとともに、関係機関とのつながりをつくることができた。「本棚」のPRも引き続き積極的にやっていく。	3 大変評価する。 7人 88% 2 ある程度評価する。 1人 12% 1 評価できない。	・関連機関とのつながりを一層深めていってほしい。 ・認知症に関心を持ち、ターゲットをしばってコーナー作りをしていて良いと思う。 ・今後多く実施されている認知症講演会で図書館のPRをしたらよいと思う。 ・認知症の方がどのくらい来館しているかは分からないが、全職員が研修を受ける必要があるか疑問。別な研修(接客サービスなど)をした方がよい。
特色ある地域づくりを分権型図書館に寄与する	◇全館共通評価項目 地域資料の体系的な収集と活用	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を行う。	・西川図書館において、郷土資料のコーナーを移動し、表紙を見せて並べる棚を増やすなど、郷土資料のPRに努めた。	・西川図書館では、郷土資料のコーナーを図書館入口近くの目につきやすい場所に移動したため、利用者の目に触れる機会が増え、手に取る姿も以前より多くみられる。	3 大変評価する。 6人 75% 2 ある程度評価する。 2人 25% 1 評価できない。	・地域の図書館にとって最も重要な取り組み(機能)だと思う。
	◆館の重点評価項目 地域資料の積極的な収集と活用	・各館において、その地域に関連した資料を積極的に収集するとともに、コーナーを設置して活用を図る。	・各館において、積極的に郷土資料を収集した。(蔵書冊数は前年度比4%増) ・巻図書館では、ボランティアグループと共催で西蒲の古墳時代をテーマに「本の森講座」を実施。関連資料の展示を行った。	・各館で地域資料コーナーの充実に努めた。 ・「本の森講座」では、地域の文化や自然、歴史を学ぶ機会を提供できた。	3 大変評価する。 6人 75% 2 ある程度評価する。 2人 25% 1 評価できない。	・角田山、弥彦山の周辺地域は、古来多くの人物が往来したところであり、多くの歴史資料がうもれているのではないかと想像する。今後も継続して行っていただきたい。 ・地域の図書館にとって最も重要な取り組み(機能)だと思う。
子ども・社会・民融合型を推進する	◇全館共通評価項目 子どもの読書環境の整備	・ブックスタート事業を継続する。 ・赤ちゃんタイムの利用を促進する。 ・うちどく(家読)を推進する。	・西蒲区ではブックスタートを313人に実施。(対象者数322人、実施率97.2%) ・赤ちゃんタイムは、西蒲区4館で実施。 ・西川図書館、潟東図書館で小・中学校と連携し「夏休みうちどくシート」の取り組みを行った。	・ブックスタートは、ボランティアと区健康福祉課と協力し、円滑に実施することができた。また、対象者に対して高い実施率を維持できている。 ・「夏休みうちどくシート」は、西川、潟東地域の小中学生から参加してもらい、秋の読書週間に作成したシートを図書館で展示した。展示期間中は、シートを見るため親子連れで来館する様子がみられた。	3 大変評価する。 7人 88% 2 ある程度評価する。 1人 12% 1 評価できない。	・夏休みうちどくシートの取り組みは子どもたちが本に興味を持ってくれる機会になる。フロア掲示で足をとめて見てくれる方もいて、良いと思う。ただ、うちどくシートに関しては学校の理解も必要だと思う。 ・小学生以下と一般利用者を図書館内で仕切り板で分離すると、親が安心して来館できると思う。 ・小学生以下専門の図書館を作るのはどうか。巻図書館の2階はどうか。
	◆館の重点評価項目 子どもの読書環境の整備	・ブックスタート事業や各館での子ども向け事業を継続して実施する。 ・学校図書館支援センターを中心に、学校図書館の支援を行う。	・「おはなしのじかん」を西蒲区4館で継続実施。また読書週間や夏休みなどに各館で子ども向けのイベントを実施した。 ・学校図書館支援センターが西区・西蒲区の小・中学校へ学校訪問等を実施した。	・各図書館で、さまざまな子ども向け事業を実施し、多くの参加が見られ、子どもと本をつなぐ活動ができた。 ・学校図書館支援センターが西区・西蒲区の小・中学校に対して学校訪問をしたり、本の取り寄せや除籍の相談など支援を行った。	3 大変評価する。 6人 75% 2 ある程度評価する。 2人 25% 1 評価できない。	
市民参加型と協働型を推進する	◇全館共通評価項目 ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	・ボランティア・教育機関や民間団体等と一緒に事業を行い、市民との協働を推進する。	・図書館ボランティア活動数は951人で前年度比0.8%増加。	・活動数は昨年度より微増した。配架書架整理ボランティアについては、今後積極的に広報を行い、参加者を増やしていきたい。	3 大変評価する。 6人 75% 2 ある程度評価する。 2人 25% 1 評価できない。	
	◆館の重点評価項目 ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	・各館において地域のボランティアや民間団体等と一緒に事業を行うなど、市民との協働を推進する。	・共催・協働事業の実施件数は18件。 ・各館において、それぞれのボランティア団体と協働し、下記のような事業を実施した。 西川：エントランス飾り付け 潟東：おはなしのじかん、クリスマス会 巻：本の森コンサート、講演会	・西蒲区全体で地域のボランティアや民間団体と協働し事業を行うことができた。今後も協働を継続できるよう努める。	3 大変評価する。 5人 63% 2 ある程度評価する。 2人 37% 1 評価できない。	・ボランティアをしている側としては、ボランティアの人材が減っていると感じる。年配の方もおり、多くの事業をすることが難しい。毎年実施している事業を継続することが大事だと思う。